



日本最年少県知事誕生で、長崎が変わる！

放置船クレーン部解体！一歩前進

ねずみ島公園海岸(砂浜)に長年にわたり放置されている银杏丸(いちようまる)撤去問題。小瀬戸町自治会として長年にわたり所管する長崎県振興局長崎港湾漁港事務所に船の撤去を文章及び口頭で強く要望してきましたが、①船の持ち主が既に死亡している。②解体するにも数千万円の費用が発生する等の回答で進展なく時だけが経過していましたが、银杏丸のクレーン部解体工事が今年の1月に実施され、とりあえず危険な状態は回避されました。

事が急に動いた背景には、①自治会が長年継続的に県に要望し続けたこと②長崎遊泳協会が長崎市に対して船の撤去を要望したこと③長崎市役所市民生活部長が長崎県振興局長に年末に申し入れたこと最終目標は放置船そのものの撤去。自治会として県に要望し続けて参ります。

この放置船は着しく腐食しており倒壊することが考えられます。船は食いですので絶対に近づかないでください。このふねは、いつかわれるかわかりません。あぶないので、ぜったいにちかづかないで！



古紙、段ボール回収協力感謝

毎日の生活に関わってくるごみ問題。自治会会員の皆さんには「ごみ分別」「減量化」にご協力いただきありがとうございます。他方新聞紙、雑誌、段ボール等もごみステーションNo.10、11に排出してもらっていますが、倉庫に収納後定期的に業者に出荷しています。年間3万数千円の自治会活動資金の財源になっています。(6組の弘進テック様、小百合園保育所様にご協力いただいています)2月22日の倉庫の様子ですが、引き続き会員の皆さんのご協力、よろしくお願ひいたします。



土砂除去工事 実施

平成22年、23年に発生した3組裏のり面土砂崩れ事故(H23年TV放映)原因はのり面の側溝(U字溝)土砂詰まり。H26年度からのり面修復工事開始。5年かけて完成(総工費2億2千800万円)したものの、側溝の土砂除去工事を3年前から長崎県振興局長崎港湾漁港事務所に自治会として施工依頼。今年1月中旬に実施し、約2トンの土砂を除去しました。初年度は10トン排出。年々減少傾向ではあるが、引き続き県に要望し実施していきたいと思っています。



自然界は確実に春に！

2月らしい北風が吹き、体感的にも寒い日々が続いていますが、5年前に自治会で環境美化の一環で植栽しましたつじが、寒さの中でも写真のように花びらをつけてくれました。春はもうすぐ！



小瀬戸町連合自治会 町内一斉清掃

3月20日(日) 午前8時 西集会所前 集合 皆様のご協力をお願いいたします

コロナ禍における卒業式・入学式挙行について

先日西泊中学校より以下の案内文章が届きましたのでお知らせします。
前略
さて本市におきまして、新型コロナウイルス感染症が依然として猛威をふるっており、感染拡大に歯止めがかららない状況が続いております。つきましては大変残念ではございますが、市教育委員会からの通知により3月15日(火)に実施いたします卒業証書授与式の出席者をできるだけ減らし時間を短縮することといたしました。
また来賓の参加につきましても、小神小学校校長と西泊中学校PTA会長のお二人に限定したいと考えています。本校卒業式のためにご予約を入れていただいた方も多くは存じますが、諸事情をお汲み取り頂き、出席をお控えいただくと幸いです。
なお、令和4年度の入学式も4月7日(木)に実施いたしますが、卒業式同様に出席者を減らし時間を短縮して実施します。
何卒、ご理解のほどよろしくお願い致します。

ご卒業・ご入学される子ども達へ

おめでとうございます。コロナ禍の中での学生生活・活動は、何かと大変だと思いますが、学び、クラブ活動、友達づくり等それぞれのステージで頑張ってください。

遊具リニューアル！

小神地域センターに隣接する小瀬戸公園の遊具リニューアル工事を終え、遊具が新しくなっています。設置後年数が経過し所管である長崎市役所中央総合事務所地域整備2課発注で取り換え工事が完了。



第36回ながさきグリーンキャンペーン開催中止

趣旨：花と緑に関する知識を深め、環境との共生を図ることで豊かな潤いのある社会の創造と文化の向上を目指す
「全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の懸念を踏まえて、市民の皆様健康、生活への影響を考慮して誠に残念ではありますが、開催を中止することと決定しましたのでお知らせいたします。」の案内書が届きましたので開示します。
なお「花×緑 フォトコンテスト」については実施するとの事です。結果が分かり次第お知らせします。事務局であります実行委員会から「コスモス」「花菱草」「矢車菊」「おじぎ草」「朝顔」の種子が自治会に届いています。花、緑に興味のある方はご一報ください。



中央環境センター 移転します

現在川口町にある中央環境センターが、旧西工場(木鉢町)を改装し工事完了。3月28日移転し実働開始となります。職員数93人、車両44台
中央環境センターとは
ごみ収集業務 市域西部、北西部地区のごみ収集(独居老人等ごみ出し支援事業含む)
自治会との連絡調整 ごみステーションの設置、移動、廃止について自治会と連絡調整



令和3年度西部下水処理場運営協議会と長崎市西工場運営協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、紙上会議になりました。ポイントを回覧します。
※現在稼働しています中部下水処理場(茂里町)は、西部下水処理場(神の島)に移ります。西部下水処理場の受け入れに関する工事はほぼ完成しているが、一部令和5年1月完成もあり、実稼働は令和6年1月~(予定)